

水道事業経営基盤強化支援事業について

長野県環境部水大気環境課

1 目的

持続可能な水道事業を確立し、安心・安全な水道水を将来にわたり供給するために、総務省及び厚生労働省から策定を要請されている「水道広域化推進プラン」を策定し、水道事業の経営基盤の強化に向けた取組を推進する。

2 事業内容

(1) 現状分析・将来推計、課題抽出（令和2年度）

水道事業者から収集した以下の基礎データに基づき、経営状況等に係る各分析項目について、現状分析・将来推計を実施

○ 給水人口（図1）

50年後には、県全域で約4割（2,051千人→1,180千人）、上水道事業で約4割、簡易水道事業で約7割減少する見込み

○ 有収水量

50年後には、県全域で約4割、上水道事業で約4割、簡易水道事業で約7割減少する見込み

○ 収益的収入

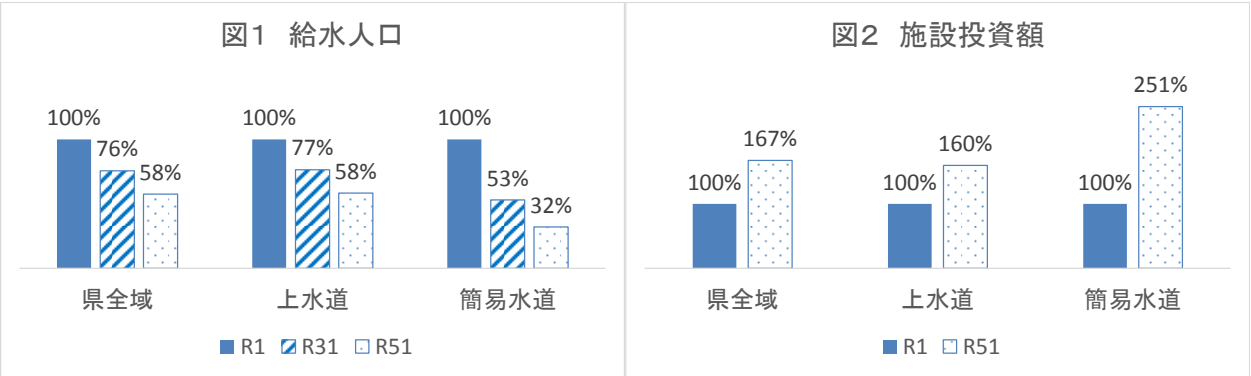
現行の水道料金水準を一定とした場合、50年後には、県全域で約4割、上水道事業で約4割、簡易水道事業で約5割減少する見込み

○ 施設投資額（図2）

現行の施設を維持していくために必要な将来の更新費用を平準化した場合、県全域で約1.7倍（213億円/年→357億円/年）、上水道事業で約1.6倍、簡易水道事業で約2.5倍となる見込み

○ 総括

多くの水道事業者において水道料金を大きく値上げしない限り、損益赤字と資金不足が発生し、経営環境が悪化する見通し



県 全 域：県内の水道事業の合計（水道用水供給事業を含む。）  
 上 水 道：県内の上水道事業の合計（同一事業体において公営企業会計を適用している簡易水道事業を含む。）  
 簡易水道：県内の簡易水道事業の合計（上水道事業を実施している事業体において公営企業会計を適用している簡易水道事業を除く。）

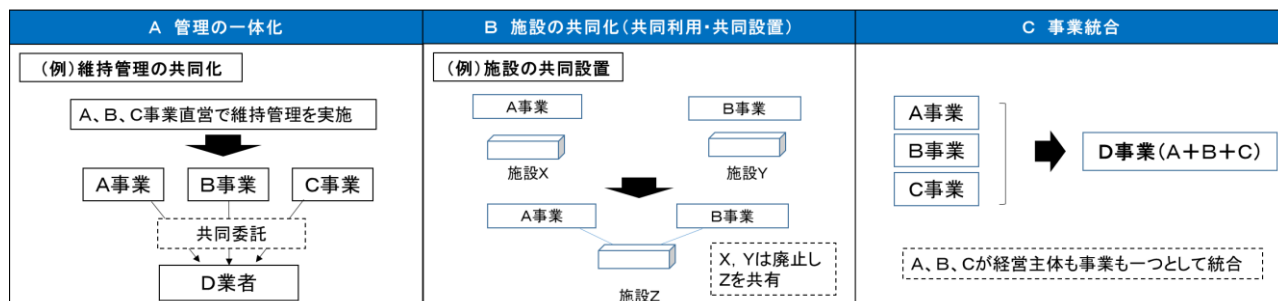
## (2) シミュレーション (令和3年度)

### ① パターンの設定

連携範囲は、広域行政圏による9圏域(上田・長野圏域を1圏域)に全県を加えた10圏域を基本とし、必要に応じ圏域を跨ぐ場合も検討

連携形態は、次のA～Cの中から、水道事業者と調整の上設定

<連携形態>



### ② 全般的なシミュレーションの実施

→単独で水道事業を運営した場合の推計値((1)の将来推計)と比較することにより、費用の削減や事務量の軽減等、定量的・定性的な効果を算出し、水道事業者に対し広域連携の可能性(選択肢)に係る具体的なデータを提供

### ③②の結果に基づく検討

→②の結果を踏まえ、各圏域において取り組む広域連携策を検討

## (3) 水道広域化推進プラン策定 (令和4年度)

シミュレーション結果に基づき、「水道広域化推進プラン」に記載する広域連携策を決定

なお、プランは平成29年3月に策定した「長野県水道ビジョン」の広域化に係る部分を拡充する形で策定

※令和5年度以降はプランに記載された広域連携策について、個別具体的な検討を行い、実現に向けて取り組む。

## 3 当面のスケジュール(予定)

令和3年5月下旬 シミュレーション業務委託業者契約

6～7月 水道事業者に対するシミュレーションパターン説明会

適宜 水道事業者と意見交換

令和4年1～3月 水道事業者に対するシミュレーション結果説明会